

緩和医療

M-04-22-L

オーガナイザー

腫瘍センター

緩和ケアセンター センター長 月山 淑

講義担当者

センター長 月山 淑

講師 栗山 俊之

I 授業の目的

疾患を持った患者と家族に対して療養生活の質の向上を提供するプログラムである緩和医療の基本を学ぶ。更に生命の危機に直面している患者・家族への対応・治療について理解する。

II 到達目標

- (1) 緩和医療を概説できる。
- (2) 腫瘍における緩和療法を概説できる。
- (3) がん患者の持っている Total Pain（全人的苦痛）について理解できる。
- (4) Total Pain（身体的・精神的・社会的苦痛）の除去の方法を説明できる。
- (5) Total Pain のうちの Spiritual Pain について理解できる。
- (6) がん疼痛コントロールの適応と問題点を説明できる。
- (7) 医療用麻薬の適正な使用について説明できる。
- (8) 緩和医療における患者・家族の心理を説明できる。
- (9) 終末期患者の療養場所としてのホスピス、一般病院、自宅の違いを理解できる。
- (10) 地域における在宅ターミナルの体制を説明できる。
- (11) チーム医療の重要性を理解し、医療従事者との連携を図る能力が身につく。

III 教育内容および講義日程表

No	月日	曜日	時限	タイトル	内容
1	R7. 11. 17	(月)	5	緩和医療概説	緩和医療学とは、Total Pain の概念の理解、在宅ターミナルケア
2	R7. 12. 1	(月)	5	身体的苦痛の除去	がん疼痛コントロール、医療用麻薬の適正な使用、チーム医療

IV 教育方法

講義：スライド、プリントなどを使用する。

V 評価の方法

最終講義時間内に筆記試験を行い、評価は試験の点数により行う。

VI 推薦する参考書

1. WHO ガイドライン成人・青年における薬物療法・放射線治療による疼痛マネジメント 金原出版
2. トワイクロス先生の緩和ケア 医学書院
3. トワイクロス先生のがん患者の症状マネジメント第2版 医学書院

Ⅶ オフィスアワー

原則毎日 16:00～17:30

【連絡方法】 totoro★wakayama-med.ac.jp (担当：月山淑)

【実施場所】 アポイントメントを取っていただくときにお知らせします

	1 基盤的資質			2 医師としての基本的資質		3 コミュニケーション能力			4 医学的知識										5 医学の実践										6 医学的(科学的)探究			7 社会貢献												
	問題解決型能力	情報技術	語学能力	社会人として的一般教養	倫理観	チーム医療	自己啓発	人間関係の構築	他者への思いやり	情報交換	細胞の構造と機能	人体の構造と機能	人体の発達、成長、加齢、死	疾病の機序と病態	検査・画像診断技術	基本的診察知識	疾病の診断・治療方法	ITの利用	生物統計、疫学	行動科学・医療経済	法令、研究倫理	患者尊厳	基本的臨床技能	臨床推論・検査所見・画像診断	診療録作成	治療選択	救急医療	緩和・終末期・看取りの医療	介護と在宅医療	患者説明	医療安全・感染予防	予防医学	副作用・薬害	ブレイン・マッピング技能	和歌山県医療	保健制度	基礎医学研究	臨床医学研究	社会医学研究	研究成果の公表	研究倫理の実践	地域貢献	福祉活動	ボランティア活動
卒業時コンピテンシ	C	E	F	F	D	D	E	D	D	E	F	F	C	D	E	F	E	E	F	F	C	E	E	F	E	F	F	C	D	D	F	F	C	F	E	F	F	F	F	F	F	E	F	F